

眠りとふとんのこと、考えてみませんか—

眠りの時間

2016
秋号

より良い羽毛を求めて—

ポーランドの鳥農家さんこんにちは！

いまさら聞けない、羽毛にまつわる
現状も徹底リポート

安心を仕入れにポーランドへ

必見！プロが教える
羽毛選び



眠りの時間

- 3 「安心」を仕入れに行ってきました。
- 4 ポーランドの鳥農家さん、
こんにちは！
- 5 PPPP社原毛工場へ
- 6 現地買付商品
- 7 プロが教える羽毛選び
- 8 羽毛ふとんのお手入れ
& ダメージチェック

いつも当店をご利用いただきありがとうございます。快眠・ギフトショップみぞぐちの溝口奈美子です。

最近、色んなところで寝具を安く手軽に買える時代ですが、安さを追求するあまり、「心地良さ」や「品質」がおいてきぼりになっていってるように思います。すべてがそうとはいいませんが、そういったことを背景に、記憶に新しいところでは羽毛ふとんの産地偽装問題などもありました。

いま一度、きちんとした眠りとふとんのことについて発信したく、ご縁をいただいた皆様に不定期ではありますが、お送りさせていただきますので、宜しくお願い致します。

快眠ギフトショップみぞぐち
代表取締役 溝口 奈美子

極寒の地ポーランドへ

「安心」を仕入れに
行ってきました。

今までも信頼のおけるメーカーのものを扱ってき
ましたが、羽毛を取扱う専門店として、素材となる
羽毛の飼育から製品になるまでの過程をきちんと見
ておきたい。

良い羽毛の産地はたくさんあるのだけれど、緯度
が高く極寒の地、高品質な羽毛を生産するために国
を挙げて研究開発が積極的に行われているポーラン
ドへ、現地仕入に行ってきました。

ポーランドの鳥農家さん、こんにちは！



今回工場の視察をした「pppp社」と提携している個人農場2軒にお邪魔してきました。
今年季の入った鳥小屋の裏手にまわると、広大な自然が広がっていて、水鳥にとって最高の環境がありました。

ポーランドの鳥農家は、原毛工場と提携している小規模な個人農場が主体。他国に比べ飼育数に対してかなり広大な大自然でのびのびと育てられ、ストレスが少ないように感じました。



にわたりの卵の3倍くらいだろうか、ちょうど産卵の時期だったので、記念撮影



今回伺った農場があるマズーリアン地方は、ポーランドでも良質な羽毛の産地。北緯50度以上のポーランドの中でも寒暖の差が激しく、大小のきれいな沼や湖が点在し、澄みきった空気に果てしなく続く牧草地。すべてが水鳥にとって最高の環境でした。

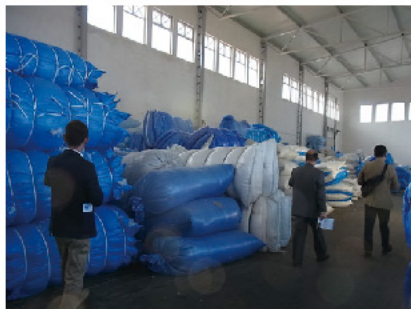
また、伺った4月位から産卵の時期に入り、もともと神経質な鳥たちが、更に神経質になる時期だそうで、メスは小屋に入れ、特にストレスを与えないよう、細心の注意を払っておられました。徹底していき届いた管理下のもと、大切に育てられているといった印象をうけました。

ヨーロッパでは、ガチョウやアヒルの飼育は、肉やフォアグラ・卵など食用目的が主で、その副産物として羽毛が採取されています。そういえば私もポーランドに到着した日のディナーはグースの塊肉でした。

ですが近年のヨーロッパでは食生活に変化が。グースやダックの消費量が減少傾向にあり、それゆえ鳥の飼育自体が減ってしまい、副産物である羽毛の採取量にも影響が。一時の異常な高騰からは幾分落ち着きました。近年の羽毛原料の価格上昇の大きな要因にもなっているのです。

通常は生後1年のうちに2〜3回羽毛を採取した後はそうした食肉用にされてしまうのですが、発育の良い鳥たちは、翌年、卵を産む為に寒い冬を乗り越え、飼育されます。生後1年を超えた親鳥（長くて5年位まで飼育）から採取した羽毛は「マザーグース」と呼ばれ、かなり成熟したダウンとして需要があり、きちんとした加工をなされ、ランクの高い羽毛として取引されます。

「pppp社」の会社ロゴにはポーランドと日本の国旗がえがかれていました。創立以来から良好な親日関係がうかがえます。



倉庫には契約農場ごとに袋詰めされた原毛が山のようにストックされていました。驚いたのは洗浄前というのに鳥独特のタンパク質臭が全く無かったこと。北緯 55° 前後の羽毛はそもそも、あまり臭いがしないのだそう。



PPPP 社の検査室にて、買付する羽毛をかなり吟味。その商品が出来上がってきました！



ダウンパワー検査



織成率検査



羽毛選別機



羽毛洗浄処理



乾燥

①選別→②洗浄→③乾燥→④冷却
この①～④の工程を 4～5 回繰り返し、選りすぐりの良質な羽毛に生まれ変わっていきます。輸出入を行っている同社では、国ごとの厳しい基準をクリアする為、日々万全の品質管理体制でした。

PPPP社 原毛工場へ

PPPP社、グーグルで正式名称で翻訳したところ、「ポーランド北部の羽毛と羽根(株)」。首都ワルシャワや観光地クラクフより緯度の高い、バルト海よりの北に位置するこの会社は、クオリティの高い羽毛を取扱っており、日本、韓国、ヨーロッパ、アメリカなど、世界市場で高い品質の信頼を得ています。

工場に入って、まず目を引いたのが、1m ほど高さのある、ドイツ製の木製の羽毛選別機。一見、この木製がレトロなようにも見受けられるのですが、羽毛の静電気防止の為にあえて木製にこだわっているようで、かなりクオリティの高い羽毛選別機だそう。この羽毛の入った箱の中に下から風を送り込み、粉雪のように舞い上った羽毛や羽根が、奥に 4～5 室に仕切られた部屋に、軽さによって選別されていきます。この工程を終え、羽毛ふとんに使えるダウン(羽毛)として選別されるのは、全体のたったの 15～20% なのだとか。少ないですね。

選別機だけでも 7～8 台がフル稼働し、洗浄はアレルギーの原因となる物質を除去するために原毛そのものの油脂分や塵やヨゴレ、ニオイなどをしっかり取り除いていく特殊洗浄をしていました。検査室では、ダウン率やかさ高・油脂分や洗浄透視度(洗浄してみても、洗浄水が濁っていないかをチェック)など、徹底した品質管理と高い水準の設備に、これならば、と現地買付をしてきました。

ポーランド・マズーリアン地方の 大自然がくれた上質な贈り物

この原毛を見てまず驚いたのが、ダウンボールの「大きさ」とミルクのような「白さ」。
羽毛ふとんに用いる水鳥はグース(ガチョウ)とダック(アヒル)があり、体格のいいグースの方がダウンも大きめで、たくさん空気をふくんで保温性に優れています。
ダウンの色は種類はホワイトとグレーの2色あり、どちらが品質的に優れている、ということは



ありませんが、ホワイトの場合はより良い羽毛かどうか、原毛の時点で見分けるちょっとしたコツがあります。
鳥はヒナの時は黄みがかったり大人になるにつれ徐々に白くなっていくので、アイボリーに近い白より、ミルクのような白に近いダウンの方がより長く生きた、成長した成熟ダウンと言えます。
写真のダウンの大きさと白さ。実際の原毛を見て、これならと納得して、更に羽毛の偏りを防ぐ2層タイプに仕立てた羽毛ふとんです。

ポーリッシュマズーリアン
ホワイトグースダウン95%
プレミアムゴールドラベル
側生地：綿100%
二層キルト



シングルサイズ

当社希望小売価格
200,000 円のところ

98,000円

(税込価格 105,840円)

セミダブルサイズ

当社希望小売価格
230,000 円のところ

138,000円

(税込価格 149,040円)

手頃な価格でも

良質のダウンを求めて

もちろんお値段が手ごろであることが第一条件だけでも、品質もそこそこ満足いくものが欲しい。というお客様におススメしたいのがこちらの羽毛ふとん。

一般に、最良のダウンが採れるのは体格が大きくて成熟した鳥からです。年齢と成熟度が同じ場合、ダックよりもグースダウンがもちろん優れています。未熟なグースよりは成熟したダックの方が良質です。

また、世界でかなりの供給率を誇るアジア圏のダウンは、通常、成熟するまで飼育しないダウンが多く、いくら価格が安くても、かさ高・保温力などがいまいちであれば、おススメできません。そういったダウンとは一線を画す非常にかさ高のあるポーランドのダックダウン(なんと、400dp)の原毛を探してきました。

ポーリッシュ

ホワイトダックダウン92%
ロイヤルゴールドラベル
側生地：綿100%
二層キルト



シングルサイズ

当社希望小売価格
70,000 円のところ

39,800円

(税込価格 42,984円)

セミダブルサイズ

当社希望小売価格
90,000 円のところ

49,800円

(税込価格 53,784円)

ダブルサイズ

当社希望小売価格
120,000 円のところ

59,800円

(税込価格 64,584円)



プロが教える羽毛選び



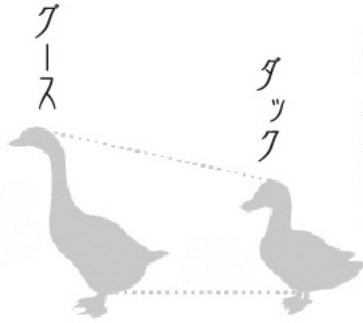
① サイズ

一人で寝る場合、二人で寝る場合、適正なサイズがあります。まさか、セミダブルサイズで二人で寝ている、ということはないですよ？
どのサイズが使い勝手が良いのか、今一度買われる前に専門スタッフに相談してみましよう。



② 水鳥の種類

大きなダウンほど空気をたくさん含みます。一般的にグースはダックより体が大きいので、ダウンも大きくボリューム感にも優れています。



③ 産地

寒さが厳しい地域で育ったダウンは寒さから身を守る機能が発達して保温性・かさ高性に優れていることから高品質な羽毛を探ることができま

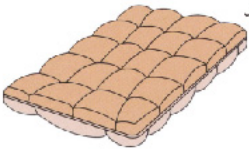
④ ダウン率

羽毛には「ダウン」「スモールフェザー」「フェザー」の3種類あり、「羽毛ふとん」とは、ダウンを50%以上使ったふとんで50%未満のものは羽根ふとんといえます。ダウン率が高いほどクオリティが高い羽毛といわれますが、ダウン率は品質を測る目安の一つで、それだけで品質を判断するのではなく、選ぶときは実際に取り、ボリュームなども見てみましょう。



⑤ 仕立方法

様々なキルティング方法ですが、選ぶなら、基本、立体キルトで。また2層キルトも羽毛の偏りを防いでくれるのでおススメです。



⑥ dpへダウンパワー

同じダウン率でもかさ差があります。羽毛は空気をたくさん含んでふわつとふくらみ、その空気の暖かい層が保温力をつくるもの。その為一般的に、かさが高いほど高品質です。羽毛の膨らむ力を数値化したダウンパワーは羽毛の品質を表す目安となります。産地やダウン・水鳥の種類だけでなく、チエックするべき大事なポイントに。
左の日本羽毛製品協同組合が定めるゴールドカードの種類なども、ある程度の品質の目安に出来るかと思えます。(大手メーカーは自社の信用でdp表示をしている為、カードが付いていないものもあります。)

<p>プレミアム ゴールドラベル</p>  <p>440dp以上 ★★★★★</p>	<p>ロイヤル ゴールドラベル</p>  <p>400dp以上 ★★★★★</p>	<p>エクセル ゴールドラベル</p>  <p>350dp以上 ★★★★★</p>	<p>ニュー ゴールドラベル</p>  <p>300dp以上 ★★★★★</p>
--	--	--	---



今回買付けたきた羽毛は、PPP社からの厳選された高品質羽毛を使用し、長年お付き合ひのある信頼のおける日本の縫製工場で製品にしました。
PPP社からは、確かにポーランドから高品質の羽毛を当店が輸入したことを証明する原産地証明書を発行してもらいました。
国単位で羽毛の品質向上に取り組んでいるポーランドでは、輸出货量も厳しく管理されているので、国の認定とポーランド羽毛輸出協会の認定、PPP社から当店へ対して輸出に見合う保証書が、今回販売するポーランド羽毛には1枚ずつナンバリングされています。

今回買付分には安心のポーランド政府と協会、PPP社の保証書付!



ご注文はお電話→ **0176-23-5777**
またはご来店にてお求めくださいませ。

電話注文の場合は代引発送・銀行振込後発送のいずれかのお支払い方法にて送料無料で送りいたします。

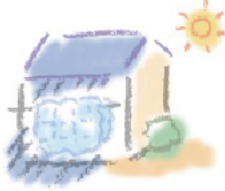
店内にはその他色々おすすめのふとんがございますので、お気軽にご相談下さいませ。

快眠・ギフトショップみぞぐち
十和田市稲生町 15-17

大事にされればされるほど長持ちするし、若返ることだってあるんです。

羽毛ふとんのお手入れ

1 月に1~2回は日陰干しを



10時~15時の間で片面約1時間を目安に、風通しのよい日陰に干すことで、ふくら感が長持ちします。

2

日なたに干すときはカバーリングを



日なたに干すときは、ふとん側生地が傷つことがあるので、カバーリングして直射日光から守ってください。

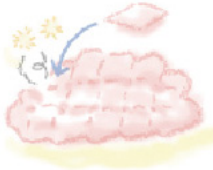
3

カバーリングはこまめに取り替えて



こまめに替えることで汗や皮脂の汚れによっておきるふとん側生地の痛みを防ぎ汚れにくく。

4 羽毛の吹き出しに注意!



針の先程の穴でも、羽毛が吹き出すことも。穴が開いてしまったら、付属の補修布を使い、防いで下さい。

5 羽毛の片寄りに注意!



縫い目のほつれたり、マチテープがはずれ、ふとんの端にかたよることがあります。

6 保管する時は布に包んで



通気性の悪いケースに入れて保管すると、蒸れたり臭いがつきやすくなります。

お日様に長時間あてたり、バシバシしたりしないで。ワタシ傷つきやすいんです (泣)

羽毛ふとんのダメージチェック

毎日使う羽毛ふとんは、意外とダメージを受けています。定期的に羽毛ふとんの状態をチェックすることで、気持ち良くお使いいただけます。



- 通気性の悪い袋やケースに入れて、長期間保管していませんか?
- 側生地にシミや汚れはありませんか? (特に、襟元にご注意ください)
- 縫い目のほつれ、マチテープが外れたりしていませんか?
- 羽毛ふとんを手のひらで押さえたとき、ふくらみは回復しますか?
- 側生地に擦り切れや破れはありませんか? (特に襟元にご注意ください)
- 羽毛の吹き出しはありませんか?
- 羽毛が偏っていませんか?



汚れや痛みが気になったら

羽毛ふとんのリサイクル&リフォームを



オーダーまわりの高さ調整は随時行っております。

たった5mmでも高さが変わるだけで寝心地は大きく変わります! 気になったらいつでもお持ち下さい!



快眠・ギフトショップ
みぞぐち

0176 23-5777

営業時間 午前9:00~午後6:30
※ 正月以外年中無休

十和田市稲生町15-17

